



3月7日 千川沿いの彼岸桜?、河津桜か、去年より1ヵ月遅い。 尾崎農園のハウス棟

多くの方は、12月、1月、2月の厳寒気に耕地の「天地返し」をする。

これは、地中の昆虫、菌・細菌たちを寒気に当てて弱めて、その害を少しでも小さくする、「技」。太陽光の紫外線に当てると言う農作業の技術である。

私はやらない。

私は、虫たちが、菌たちが居ても良い畑を目指しているのですから・・・、やらないのです。また、天地返しは、重労働でもあるし、体力不足で、私はやれないのであります。

「天地返し」は、菌根菌などの善玉菌、益虫も排除してしまう。カミキリムシ、ヤスデも、ムカデもダンゴ虫もクマムシ、トビムシ、善玉センチュウ、悪玉センチュウ、ミミズたちが・・・居なくなる。細菌を食べる菌、醗酵の元菌達も全て死んでしまいます。紫外線はそれ程強力な光線である。

畑を乾わかすようにするのも同じ考えからであります。伸びた菌糸たちが乾燥して死んでしまうからであります。土中の生命が失われる。

色んな生命の繋がりがあって、今がある。 蜂の来ない。蝶も蛾も来ない。 鳥も来ない。そんな生命の循環を失った畑を作りたくない。 「虫」も「菌」「細菌」も「草」も居て良い、あって良いのであります。

有機栽培の畑は、いつも 50%程度の湿り気が必要です。

年間を道して乾かさない。 「土」を手で強く握ると手の平が湿る程度の湿り気を保つ。 ミミズが喜ぶ分量に、するが良い。

「不耕起栽培」を続けてた畝に、支柱を差し込むと、何と 1m20 も挿し込むことができた。 去年の話です。坂本さんと菜園で話しながらのことでした。二人で驚きました。

作物や雑草たちの土中の根を大切にしたい。 残された根は、空隙を作る。団粒を作る。「根耕」と言う事なのであります。 根の周りに団粒ができるのであります。

乾ききった「土」が強風で吹き飛ばされて、黄砂のように舞い上がる。 春一番、二番、三番の強風である。清掃を止めて、帰宅。 薄目を開けて帰った。 教室掃除の中止は、チョッピリうれしかった。

昭和の時代は、冬季に裸地畑が多かった。 その中を西武線の糞尿列車が走る。そんな西武農業鉄道でありました。 客車の扉が手動。 井荻駅は、その糞尿の集荷所。 今は、信じられない風景だ。 田舎でありました。 3月近くになると、薄暗くなる程の土砂が舞った。 井荻駅は、戦中・戦争直後の肥料基地でありました。

ブロッコリー、カリフラワー、ナバナ、……収穫時だ。

大層栄養価の高い野菜のようだ。スギ花粉症に有効。 クシャミ、鼻のムズムズ、で、菜花で鼻水が止まる。 茹でてマヨネーズ。 ベーコン和え。 ワサビ醤油も良いですね。 タノレットと言うカリフラワーは、甘くて美味しい。

ナバナの茹菜は春野菜の代表です。辛子醤油でOK。美味しい。

今回、カラシナは植え忘れでいた。それで、いただけない。 カキナは当たり。食べています。

一雨欲しい。 ジョウロで「水」を撒くと、ぐっと野菜たちが伸びてくる。

昔の子供たちに「花粉アレルギー」なんていうものは聞いたことが無かった。「ナバナ」を良く食べさせられました。 そのせいでしょうか、花粉症は、なかった。 ナノハナも幼花が効く。ブロッコリーが効く。 十字科植物の花の若芽が効く。 アレ

ルギー反応に効く。 小雪が、小雨も。ヤレヤレ。 久しぶりの降雨でありました。
(3/6・木)

以前は山々に、「檜」「杉」などの針葉樹が今ほど植えられることもありませんでした…。 TVの「日本昔話」の挿絵のように、峰筋、谷筋に、針葉樹、広葉樹、常緑樹、が、…、 自然混植の山でした。 混交林。

大戦中禿山になった所に、針葉樹がせっせと植えられた。でも当時、花粉症になるなんて、全く聞きませんでしたヨ。

小学校の夏休み中、先生に連れられて、福島神俣の田舎で過ごした。 蒸気車で帰京する。と、県内の沿線は、ハゲ山ばかり。 その山原に桔梗や百合や萩が生い茂る。 山草野草の花畑。綺麗でした。 列車の窓から見ました。実にきれいでした。

ヒノキ材、スギ材は高く売れるので、どんどん植林されて、山々が黒緑に染まっていった。 だが樹木の生育に時間がかかり木材の供給が間に合わず、待てずに木材の輸入が始まる。 やがて、山林は、放置状態になっていく。

この数十年、花粉の飛散がひどい。杉アレルギーが蔓延した。 花粉症対策が問題になっていった。

花粉症には、「菜花」「ブロッコリー」!!!です。_____いただきます。

ここで、有機肥料の入手先を調べてみます。

「みのり堆肥」 石神井農協 アメリカ西岸の針葉樹のバーク醗酵堆肥

基本的な堆肥 J A東京グリーンセンター ☎ 03-5349-8791

石神井農協 ☎ 03-3995-4128 で、入手できる。

「ダルマ堆肥」 タキイ種苗 内容不明 使用している醗酵菌が有効

☎ 075-365-0140 京都市

小川種苗 西東京市田無町 青梅街道田無警察署前

☎ 042-461-1431 清瀬篤農家 松村氏 推薦

「グリーンランド」 豚糞醗酵肥料 中野区中野 2-28-1-302 ☎ ……

☎ 0279-67-3577 (茨城工場) 担当吉田三智男 葉物野菜が

抜群の生育

「玉肥」 長浜商店 栃木県下都賀郡野木町南赤塚 659 ☎ 028056-1100
醗酵菜種肥 宮内庁御用達? 安全安心な肥料 玉肥の「菌」が
有効 生活クラブ生協でも扱う 大中小粒、用意されている。
長年使用していて、とても調子が良い。使われている「菌」
が有効

「糠」 精米機のある米店 保谷駅南口3分 一俵価 時価 ¥600
山口米店 杉並今川(荻窪病院近く) 一俵価 ¥300 かなり安い
☎ 03-3399-4504 お米もご購入下さいネ。

「コーヒー粕」 西荻窪南 1-16-19 ☎ 03-3334-7231 在庫のある時のみ
大宮八幡に向かう神明道の小道、南側

「オカラ」 携帯で豆腐店で検索下さい。 越後屋豆腐店(桜井留吉) 売って
ます。 ☎ 03-3333-5477 など。

「牡蠣殻細粉」「牡蠣殻粉」「カニ殻粉」「カニ殻ペレット」「粃殻燻炭」「粃殻」「骨粉」、
「魚粉」、「玉子殻」、「醗酵豚分糞」、「養豚所」「牛舎」等が出る「敷き
藁」、「竹チップ」「竹パウダー」「竹炭粉」・・・、 スマホで検索して下さい。
入手 がだんだん難しくなっています。 それぞれの効き目は、後日に。

無料・安価で手に入る有機物・・・野菜作りに使える有機物

「落ち葉」⇒善福寺公園など 「刈草」⇒千川上水沿いなど。 「野菜残滓」
⇒ 自分の畑で。 「調理塵」 「草木灰」⇒お線香の灰など 「自作堆肥」
大学の馬術部の「馬糞」 事前申し込み ☎ 0422-37-3806 近いところで成
蹊大学 早稲田大があります。

「醗酵菌」・・・「麹菌」「納豆菌」「乳酸菌」「酵母菌」「放線菌」、「バチルス菌」
⇒枯草菌 「菌根菌」「光合成細菌」……など。

スーパーで売っている「コウジ」⇒塩麹菌。 食卓に上がる「納豆」⇒「ナットウ菌」 乳酸菌⇒牛乳を容器に入れてふたを開けておくと採取できる。何処にでもいる。
酵母菌⇒パン酵母なら購入、リンゴの剥いた皮 葡萄の吐き出した皮。・・・ 「放線菌」
⇒ミミズの糞の中に居る。昔の畑の土の臭いの元。 何処にでもいる。 和風の建物の床下の臭いを出す菌。昔の土の臭い。

特殊な成分

「BH-101」「万田酵素」 「ソマチット粉末」(0479-77-4187)

ジーエスボロン研究所 二瓶満吉

化成肥料

化成「8・8・8」「14・14・14」「20・20・20」「マグアンプK」「ハイポネックス」
各種の化成肥料 ……。



2/14 最近の57区 レタス ネギ カキナ ブロッコリー… 3/7 ジャボチカバ 咲く

ジャボチカバ(熱帯小果樹)の花が咲きました。「水」「温度」「日照」で、出たり引つ込んだりの花が、やっと咲きました。甘い香りが快い。5月になると幹回りに、ズッシリと巨峰のような果実が成る。味は、レイシ味。甘い。 T、